



ブラジルから

こんにちは
Boa-tarde
ホ"ア タ"ルデ"

サンパウロ日本人学校

2017.7.6

No.20



ブラジルの大自然④ Mata Atlântica

● 大西洋岸森林～南東部の保護区群～ ●

大西洋岸森林（マタ・アトランチカ）は、ブラジルの大西洋岸にそって南北 3000kmに分布する森林の総称であり、アマゾンと並ぶ有数の森林地帯です。

ここには 20 万種の生物が存在し、植物だけでも 2 万 5 千種以上あると言われています。しかもその 40%は固有種（そこにしか生育しない動植物）だそうです。

1500 年以降に始まったポルトガル人による開発（サトウキビ栽培のための伐採や牧畜）、1800 年以降の綿やコーヒー農園の開発、都市化などによってその大部分が失われ、現在は元からあった原生林のうち 8%しか残っていないそうです。残された豊かな動植物を保護するため、「世界自然遺産」として登録されました。

その中でも、サンパウロ州が含まれる南東部の保護区は、広大で動植物が豊富な地域です。

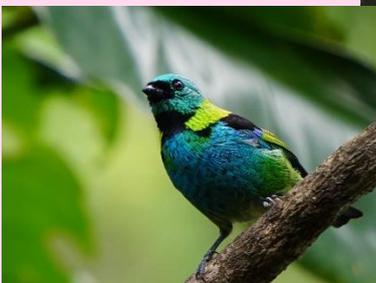


鳥は、約950種が生息しているそうです。色とりどりのインコやオウムなどがたくさん飛んでいます。

→学校に現れた、
アオハシヒムネオオハシ
Tucano-de-bico-verde



←ミドリキンフキンチョウ
Saira-sete-cores



↓ハチドリ的一种 Beija-flor



▶南東部に見られる動物



←ウーリークモザル Muriqui
絶滅危惧種。



←↑写真：Wikipedia

←ジャガー Onça-Pintada



南米最大のネコ科の大型肉食



動物、ジャガー。開拓時代は、上の像のようなことが起こっていたんですね。

森を歩けば、
ヘビのぬけがらや
大きなクモと出合
えます。